



小樽市立朝里中学校～学校教育目標「自律・承認・創造」～

コミュニティ・スクールだより

～地域とともにある学校づくりを目指して～

第6号 令和2年9月17日

9月の学校運営協議会 報告

9月8日(火)学校運営協議会が開催されました。話題は、前回に引き続き「コロナ禍の中にあっても、児童生徒が安心して学び、生活するために地域や学校家庭ができること」でした。

コロナの影響は経済だけでなく、さまざまなところに出ています。特に、朝里中学校運営協議会としては、次のようなサポート案が出されました。「おたがいさまプロジェクト(仮称)」です。

学びと生活の「おたがいさま」をつなげたい

中学生用の英和辞典、アルトリコーダー、彫刻刀や裁縫道具、参考書や問題集、校章学級バッジ、制服 文房具、スキーや部活用具 など、毎日使うわけじゃないけれど 必要なものがあります。

こういったものを、「よかったら使ってください」「ありがとう」と、無料で循環させるしくみを作りたい。と考えています。家庭にある「よかったらどうぞ」を写真とコメントをつけて送信してもらい、リスト化したものについて、「欲しいです」という人が申し出る方法で考えています。「メルカリ」や「ジモティー」の朝里地区版です。

情報やスキルの「おたがいさま」アイデアの例

- 勉強の仕方や進路先情報を知りたい → ● 地域の高校生や大学生がアドバイスします
- 集まれるフリースペースが欲しい → ● 学校図書館で本を借りたり勉強できますよ
- 奨学金等の手続きの方法などを知りたい ● 学校事務職員が相談にのります
- ガーデニングと野菜栽培アドバイス求む → ● 野菜おすそわけ ● 伐採木材等の配布
- OBによる部活動のお手伝い求む → ● 大人の活動の機会 OBとの合同練習や演奏会
- 職場体験やキャリア講話をお願いしたい
- 卒業証書の揮毫をお願いできる方いますか？
- 中学生主催のリサイクルブックフェアなどの行事を企画したい

など、ニーズと協力者を結びつけて、お互いWIN-WINの関係づくりを

アイデアを実現させるにはどうしたらいいの？

地域のみなさんの協力が必須です。

まずは、このような「おたがいさま」プロジェクトについてご意見やご質問などを遠慮無くお寄せください。実現するのは学校運営協議会のメンバーだけではなく、地域や保護者、学校などがたくさんの人を巻き込んで実施します。その中で、地域にお仲間ができ、楽しい交流がうまれればいいな、と願っているのです。



学校運営協議会でのディスカッションの中で学校のスキー授業についても話題に上りました。学校でのスキー学習は年2～3回。小学生は成長が早いからスキー靴もウェアも買い換えが大変。昔と違ってスキーはゲレンデまでいかなくちゃできない。小樽市の特色がスキーだとしたら、子どもたちや小樽市民に安くスキーを日常的に楽しめる施策などがあれば、ふるさと学習になるかもしれない。という意見も出ました。校区にもスキー場があり、利用する人にもスキー場にもお互いハッピーになる方法を考えるのは大切なことですね。



地域の情報交換 ～委員さんの近況より～

- 朝里神社の祭典が開催されました。今年はコロナ対策で露店なども開かれませんでした。神社から珍しい猿田彦の面が発見され、期間中に一般公開されました。朝里神社の宝物として今後ともみんなで大切に継承していきたいですね。祭典中の松前神楽奉納には中学生も踊り手として参加してくれました。(永井委員)
- リバーサイドフェスティバルが中止になりましたが、サプライズの花火を5分間、75発上げることができました。短い時間でしたが地域の方々に喜んでいただけて幸せです。(中委員)
- 小学生も中学生も短い夏休みが終わり、2学期を元気に迎えました。ただ、夏の疲れがとれない子どもたちもいて、今回のコロナ騒動はどの世代にも影響を及ぼしていることを実感します。学校行事等については、まずは感染予防対策をしっかり行った上で時期や内容を変えて実施する方向で考えています。
- 地域の子どもたちは、いつもあいさつをよくしてくれています。(三津委員)
- 地域から大学に通っています。大学は春以降オンライン授業が続いています。実際に会うことができない大学生活は特に新入生にとっては辛いかもしれません。でも、オンラインならではの良さもあると考えています。(津田委員)



朝里中学校 学校図書館の壁に素晴らしい壁画が登場しました！美術部のみなさんの作品を拡大して広いスペースに貼りました。とっても明るい雰囲気になりました。ぜひご覧いただきたいです。

お礼！ 前回の学校運営協議会で「美術の授業で使用するボロ布（ウエス）が足りない」という話をしたところ、たくさんのウエスの寄贈をいただきました。版画、木工芸、彫刻など、美術や技術の授業ではウエスや古新聞は必需品です。ところが個々人が用意するのも大変な様子で、今まで美術担当の福原教諭が自宅のシーツやTシャツなどを切って提供していました。今回の寄贈で子どもたちの学びが豊かになりました。感謝申し上げます。

朝里小学校も来年度よりコミュニティ・スクール指定になる予定です。10月14日、説明会があります。地域の皆さん、どうぞお出かけください。